



ヴィゴ・モーテンセン、キャット・ヴォン・D、フランソワ・ジラル、ウテ・レンパー、
ソンドラ・ラドバノスキーらが審査員を務める『グレン・グールド賞』、
受賞者発表は4月13日

【トロント（オンタリオ州）、2018年2月21日】第12回グレン・グールド賞の国際審査員長は、アカデミー賞ノミネート俳優であり画家、詩人、ミュージシャンであるヴィゴ・モーテンセン（米国/デンマーク）が務める。審査員には、タトゥー・メイクアップアーティストでありミュージシャン、起業家、テレビパーソナリティのキャット・ヴォン・D（アメリカ）、映画、オペラ、舞台のアカデミー賞・グラミー賞受賞演出家であり卓越した脚本家であるフランソワ・ジラル（カナダ）、歌手で女優のウテ・レンパー（ドイツ）、作家で元カナダ最高裁判官のビバリー・マクラクリン（カナダ）、画家のニアメ・ネイミアイ（イラン）、高い評価を得ているソプラノ歌手ソンドラ・ラドバノスキー（カナダ/米国）、アカデミー賞受賞の作曲家で指揮者のハワード・ショア（カナダ）、打楽器コラの名演奏家で作曲家のフォディ・ムサソ（ガンビア/米国）、受賞歴のある作曲家で中国音楽家協会会長のイェ・シャオガン（中国）が名を連ねる。

「芸術のノーベル賞」と称されるグレン・グールド賞は、芸術を通じて生涯にわたり多大な貢献をし、人類を豊かにしたと認められる個人に授与される。グレン・グールドの芸術的才能と文化に対する多方面からの貢献に敬意を表し、同賞は、アートのかによる生活の変革を推進している。グレン・グールド賞受賞者の偉業により、こうした変革が実現されている。

審査員らは、4月11日および12日にトロントに招集され、受賞者の審議と選考を行う。国際的な賞である同賞は、音楽、劇、執筆、映画、ビデオ、ラジオ、テレビ、レコーディング、技術、建築、デザインなどのクリエイティブな分野から幅広くノミネートされる。

第12回グレン・グールド賞受賞者の発表については、**2018年4月13日（金）午後12時30分**からTELUS Center for Performance and Learning（273 Bloor Street West, Toronto）のLeslie and Anna Dan Galleriaにて開催される記者会見で行われる。

受賞者には、賞金10万カナダドルと、カナダの彫刻家ルース・アバーネシーが制作したグレン・グールド賞の彫像が贈られる。受賞者の作品は、翌年開催される一連の公開イベントにて表彰される。

過去の受賞者には、フィリップ・グラス（2015年）、ロバート・ルパージュ（2013年）、レナード・コーエン（2011年）、エル・システマの創設者であるホセ・アントニオ・アブレウ（2008年）、ピエール・ブーレーズ（2002年）、ヨーヨー・マ（1999年）、オスカー・ピーターソン（1993年）、ユーディ・メニュイーン（1990年）などがあげられる。

同賞の受賞者は、City of Toronto Glenn Gould Protégé Prizeを贈呈する優秀な若手アーティスト個人または団体を選出する。選出の対象となるのは、グールド氏が若かりし頃に体現していたような、芸術の才があり革新的で、キャリアに将来性がある個人・団体だ。Protégé Prizeの受賞者は年内に発表される予定となっている。

4月13日の夜には、グレン・グールド賞発表を記念し公開特別演奏会がKoerner Hallにて催される。詳細は後日。

グレン・グールド・ファウンデーションについて

グレン・グールド・ファウンデーションはグレン・グールドの精神や功績に敬意を表し、傑出した才能を持つ人物を褒めたたえ、創造を促進し、音楽やアートの中で生活を変革させる、といった取り組みを、代表的な活動であるグレン・グールド賞の授与などを通じて行っている。詳細は、www.glenngould.caを参照。

-30-

メディア問い合わせ先：

Karen Lorenowicz、KL Strategic Communications
416-245-2475, karen.lorenowicz@gmail.com